

根室産水産物の輸出促進支援事業の遂行状況について

平成 23 年 9 月 6 日

根室市総合政策部

1 事業実施主体の名称

根室市アジア圏輸出促進協議会

構成団体：根室市、根室水産協会、根室商工会議所、根室漁業協同組合、
歯舞漁業協同組合、落石漁業協同組合、根室湾中部漁業協同組合

協力団体：北海道根室振興局、根室市議会

2 主たる事務所の所在地

北海道根室市常盤町 2 丁目 2 7 番地

3 代表者の役職名及び氏名

会長 根室市長 長谷川俊輔

4 事業の目的

アジア圏に向けて根室市の高品質で安全な水産物等の輸出を促進するため、海外の貿易実務者等の招聘及び当市からの経済ミッションの派遣など、関係者一体となった取組みを推進し、海外における販路開拓を図る。

5 対象国又は地域

ベトナム社会主義共和国

6 特定品目

水産物（冷凍サンマ等）

7 活動状況（平成 23 年 9 月末日現在）

（1）産地 P R ・国内商談会

ア 目的

ベトナム市場において、根室産サンマに対する認知度や信頼性の向上を図るため、日本貿易振興機構の協力を得てホーチミン及びハノイの水産バイヤーを招聘したほか、ベトナム商工会議所の根室市視察団を受け入れし、根室市内の中小企業経営者との意見交換や水産加工施設等の視察などを実施した。

イ 招へいした者

① 日本貿易振興機構（JETRO）ミッション

■水産物加工・輸出入企業

ハノイ・シープロデックス社（ハノイ市）

ティエウ・ティ・タイン・トゥイー 副マネージャー

レ・アイン・アクアティック・プロダクト社（ホーチミン市）

レ・ティエン・チュン 社長

フィー・ロン・イチバン社（ホーチミン市）

グエン・ツオン・ハイ 社長

■国営スーパー大手

サイゴン・コープ社（ホーチミン市）

ボー・トラン・ゴック 新鮮食品管理部 副部長

■民間スーパー

ユニマート社（ハノイ市）

グエン・ホアン・バン マーケティング部門 部長

② ベトナム商工会議所（VCCI）ミッション

■ベトナム商工会議所（VCCI）（ハノイ市）

フアム・クアン・ティン 国際協力部副部長

グエン・ベト・ズン 職員

■水産物加工・輸出入企業

ビーコートラ・トレディング株式会社（ハノイ市）

トー・バン・ソン 社長

ハノイ・シープロデックス株式会社（ハノイ市）

グエン・スアン・ハン 支社長

グエン・ティ・ベト・ガー チームリーダー

ハ・ロン水産加工輸出株式会社（クアン・ニン省）

グエン・ヒウー・ミエン 社長

グエン・ヒウー・マイン 輸入部門 スタッフ

ビン・トアン輸出入株式会社（ビン・トアン省）

トー・トエー・ラン 社長

タイン・ハイ水産有限会社（ホーチミン市）

グエン・ティ・ライン 副社長

ボー・ミイン・トウー スタッフ

ウ 産地PRの内容

日本屈指のサンマの水揚げを誇る根室・花咲港を訪問し、130隻を超えるサンマ船団を見学するとともに、紫外線による海水殺菌装置を搭載した漁船設備を紹介したほか、隣接する水産物地方卸売市場を訪問し、魚体の損傷防止のためのタンク取り・タンク出荷等の鮮度保持のための諸対策についてPRした。

また、サンマの加工施設の視察を行い、台湾産のサンマとの競合が避けられない中であって、商品戦略としての“One-Frozen”の商品性をPRし、冷凍・解凍のプロセスが一度だけであるという産地の強みを生かして商品価値を徹底して宣伝した。

エ 国内商談会の内容

根室市内のサンマ加工業者12社が一堂に会し、ベトナムの水産バイヤー等との商談会を開催した。

また、北海道における空間放射線量率や放射性物質モニタリング検査の

実施状況を紹介し、放射能に関する諸対策を説明して安心・安全な水産物をPRした。

さらに、ベトナム人の勤勉性や知的な探求志向に鑑み、北海道沿岸のサンマが有する高栄養素といった強みのアピールや、棒受け網漁法という資源の持続的な利用などの環境への配慮等の取り組みをPRすることは非常に重要であることから、実際にサンマ加工食品など試食提供に加え、根室産品26品目の商談・試食会を行った。

オ 実施時期

① 期間

平成23年8月29日（月）から9月2日（金）まで

② 招へい日程

8月28日 午後／来日

8月29日 午後／根室市長表敬訪問、意見交換会、歓迎レセプション

8月30日 午前／サンマ水揚げ視察（花咲港において船内外の視察）

水産物地方卸売市場視察（入札視察）

水産加工施設視察（HACCP管理視察）

午後／商談会

8月31日 午前／タラ水揚げ視察（歯舞漁港）

水産加工施設視察

午後／商談会

9月 1日 午前／視察（根室市内）

午後／視察（乳製品加工施設）

9月 2日 午後／帰国予定が荒天により延期

9月 3日 終日／荒天により日本滞在

9月 4日 終日／荒天により日本滞在

9月 5日 午後／帰国

カ 事業の様子（写真）



〔産地PR〕

サンマ水揚げ日本一の根室花咲港において、根室漁業協同組合幹部より漁獲方法や紫外線による海水滅菌装置を搭載した漁船設備を説明し、産地PRを行った。



〔産地PR〕

根室花咲港の卸売市場において、水揚げされたばかりのサンマを前に鮮度保持と、魚体の損傷防止のためのタンク出荷など諸対策を説明し、他国産との差別化を訴えた。



〔産地PR〕

漁獲物全体に占める大型魚の割合の高さを宣伝し、ベトナム市場での「根室ブランド」の構築に向けてPRを行った。

ベトナム側のバイヤーは、脂の乗った根室産サンマを手に取り、「台湾産サンマに比べて魚体が丸々と太っており、ベトナム市場での関心も高くなる」と、高い評価を得た。



〔産地PR〕

水産加工施設において、冷凍サンマの加工ラインを案内し、機械化された箱詰め作業や衛生管理面、鮮度保持の処置をPRした。



〔国内商談会〕

根室市内で行った商談会において、冷凍サンマを製造し販売する１２社がそれぞれの企業ＰＲを行った。

また、放射能対策を紹介し、安全安心な水産物をＰＲした。



〔国内商談会〕

商談会において、根室産水産加工品２６商品を試食提供し、各社の担当者とバイヤーの間で、熱心な商談を行った。



〔国内商談会〕

商談会に引き続き、具体的な価格や輸送条件などについての意見交換をはじめ、個別の企業間の交渉を行った。



〔国内商談会〕

根室市滞在中、様々な機会を捉えて根室市長よりトップセールスを行った。

キ 結果概要の

根室市の官民で組織する根室市アジア圏輸出促進協議会（会長：根室市長）とベトナム訪問団の冷凍サンマ「産地PR・国内商談会」では、価格の開きが大きく滞在期間中の成約には至らなかった。

ベトナム側は、国内流通の主流を占める台湾産サンマの価格を基準として示し、双方の提示価格に1～5割ほどの開きがあった。冷凍サンマは3社から引き合いがあり、うち2社からは合計3300トンの輸入の希望であった。

根室側の希望は1キロ当たり9～10尾のサイズの輸出を希望しているが、現在の魚の組成は150GR以上の大型の魚体が中心で、冷凍生産に適したサンマの生産は、昨今の漁様子から9月中旬以降になる見通しを伝え、安定的に水揚げがつつけば「ベトナム側の要望に応じることでもあるのではないか」とした。

今後は、2週間毎にサンマの水揚げ状況や相場を見極めながら、引き続き、価格提示をつづけることとした。

また、ベトナム側が新たな食材として強い関心を示したのが「真タラ」で、鮭の頭と同様にスープの具在としての需要が見込めるとの考えを寄せたため、テスト輸出として頭部など約6トン进行輸出することとした。

その他、今回の商談では、鮭フレーク、冷凍サケ、冷凍秋サケ頭、冷凍ホタテ、明太子などの引き合いがあり、引き続き交渉が行われている。

（2）海外販売促進活動

平成24年2月、ベトナムに根室市経済ミッションを派遣し、海外販売促進活動の実施予定のもの。

（了）